

よこすかどぼく
かんないきゅうけいしやち
かんれんいせき

横須賀土木 管内急傾斜地 関連遺跡

三浦市No.165 遺跡

所在地 三浦市
下浦町松輪

時代 中世



調査期間は平成 15 年 10 月 8 日～11 月 14 日。

やぐら 5 基と土坑 (どこう) 墓が 1 基 発見されました。

これらのやぐらからは五輪塔 (ごりんとう) や宝篋印塔 (ほうきょういんとう)、板碑 (いたび) などの石塔 (せきとう) 類が総数で 220 点出土しました。

そのほか人骨やかかわらけ、鉄製品など沢山の遺物が出土しています。

またそれぞれのやぐらの内部と前面には貝殻混じりの砂を敷き詰めて他の場所とは区別していたことがわかります。

1号やぐら

奥壁 (おくへき) 寄りに板碑が立ち、そ



▲ 1号やぐら



▲ 4号やぐら

の前面に五輪塔と宝篋印塔が多数出土しました。

2号やぐら

五輪塔と宝篋印塔が多数出土しました。

3号やぐら

発掘調査前から口が開いていて遺物は発見されませんでした。

4号やぐら

五輪塔が2基と宝篋印塔が5基出土しました。

5号やぐら

五輪塔と宝篋印塔が1基ずつ出土しました。



▲ 4号やぐら 宝篋印塔